

全酪連会報 10

2024 OCT No.709



若手後継者の本音／
平野友博さん、政子さん

酪農業に対する理解醸成活動
新宿で開催

酪農部だより／
全酪連おすすめ乳製品のご紹介

日本酪農見て歩紀／
須藤牧場
(千葉県館山市)

酪農トピックス／
全国農協乳業協会
「女性職員向けキャリア研修」を
開催しました(酪農部)ほか

酪政連活動報告

LINE公式アカウントができました！
登録をお願いします！



 全国酪農業協同組合連合会

立地

牧場のある笠岡湾干拓地 愛称『笠岡へいふあーむ』は、岡山県の最西南部に位置する笠岡市にあります。笠岡は、瀬戸内海の潮待ち風待ちの港町として栄え、瀬戸内海一体に勢力を持っていた村上水軍の居城があった場所です。周辺には未だカブトガニの繁殖地で知られる広大な浅瀬や干潟があります。笠岡は港町として発展してきましたが、平地の少なさと水の不足を大きな課題として抱えていました。港が時代の変遷や汽船の発展とともに衰退する中、「土地と水」の問題を一挙に解消するものとして平成2年に完工した国営笠岡湾干拓事業は、用水は沿線各市町の工業用水・水道用水と合わせて、高梁川から延長24kmの導水路を建設して確保し、農業用地1,190ha、工業用地(共同事業)460haを造成し、笠岡が宿命として抱え続けた「土地と水」の問題を一挙に解消する若い大地として生み出されました。現在では、大規模な花・野菜・果樹の栽培に加え、1万頭近い乳牛や肉牛の酪農・畜産業などが行われています。また菜の花畑やひまわり畑もあり、観光スポットとなっている若い大地です。



今回は、岡山県笠岡市笠岡へいふあーむの後継者 平野友博さん、政子さんにお話を伺いました。

その笠岡湾干拓地の一角に、自給飼料畑に囲まれた平野牧場があります。

平野牧場は、耕平氏が隣接する里庄町から20年前に牧場を移転し、自宅から朝夕通勤する形で作業を行っています。通勤に片道20分ほどかかりますが、逆に仕事と家庭を明確に区分する事ができるそうです。

広々とした農地で十分な自給飼料を作り、生まれた子牛を育成牛として育てるといふ循環型酪農を行うにおいて、現在の環境は代えがたいものがあるそうです。

後継者として

友博さんは広島県の酪農家に3人兄妹の長男として生まれました。小さい頃からお父さんの仕事を手伝うのが好きで、自然と酪農家になることを想いましたが、周辺の環境的に、思い悩むこともあったそうです。それでも好きな酪農を学ぶために地元の農業高校から酪農学園大学へ進学し政子さんと出会ったことになりました。牧場の場は最終的にこの笠岡湾干拓地となりましたが、友博さんは、仲間や自分の行いたい酪農環境のあるこの場所に送りだしてくれた両親にいつも感謝しているそうです。

酪農家となったことについては、定期的な休みのある生活に少し憧れたこともあったそうですが、「ヘルパー制度の利用や家族での労働分担や協力で、子供の行事等にも夫婦で参加も出来、

仕事も育児も楽しく両立できている。」そうです。

酪農への想い

酪農として循環型であり、自己生産型であることを大切にされているそうです。

現在、8ha程の飼料畑をイタリアン、ソルゴー、デントコーンに分け自給飼料を栽培されています。収穫した自給飼料は、ロールバールサイレーシヤやバンカーサイロで貯蔵し通年給与を行っています。

従来の二期作に加え品質や収量の向上と安定を目指し耕種農家と交互栽培を試みることで、土壌性状の安定や雑草の駆除も期待しています。お互いに良い効果を得られる土地のローテーションは、うまく関係を構築し続けていきたいそうです。

牛群も、現状の搾乳牛自家産を維持するのは当然としても、種雄牛の選定から育成技術を積み重ねることで数年後の結果は大きな違いになるように、すべての作業を基本から手を抜くことなく積み重ねていくことを目指しているそうです。

将来への展望

現在、十分な労働力が確保されているため、令和



▲ 牛舎

【経営概況】

所 属 おかやま酪農業協同組合(檜尾康知組合長)
 家族構成 [経営主]平野耕平氏、博子夫人
 [後継者]平野友博氏(34才)、政子夫人(34才)、
 [子供2人:8才、4才]
 飼養頭数 経産牛:70頭、[搾乳牛群]フリーバーン:2群
 (フレッシュ牛群とそれ以外) TMR給餌
 育成牛:45頭

日常の作業されているのは、友博さんと義父の耕平さん
 2人に妻の政子さんか義母博子さんどちらかが加わる3
 人作業体制が基本。自給飼料の生産を熱心に行っているた
 め、収穫・運搬・詰込みの時期は家族総出で行っている。

若手後継者の 本音

Vol.71

若い大地に 2人で築く循環型酪農



◀ 牛舎内細観



◀ 干拓地内
牧草地



▶ ロールベール
サイレージ



◀ デントコーン
刈り取り



▶ バーラー搾乳



2年の搾乳機器更新の際には8頭スイングから8頭Wへとパーラーの形式を変更し、経産牛を60頭から70頭へと増頭されています。更新に伴い、搾乳時に得られるデータもパソコンで管理できる体制に変更し牛の個体や状態管理に努められています。結果、「労働力・頭数・作付面積のバランスがとても良い状態であり、家族経営の中でできる最大の効率で運営されていると考えています。その為これ以上の増頭は考えていません」とのお話です。

「将来的にも家族経営を続けていきたいと考えているので、労働力が減っていく時のことはいつも2人で相談しています。10年後には、搾乳機器の更新を検討しなければいけないし、順次機械や設備の更新も必要です。」と今後を見据えて、労働力が減っても規模縮小しないために、ロボット搾乳にも興味を持たれているそうです。

コスト面や設備面で、もっと導入しやすくなる

ことを期待されてもありません。

もっとも『笠岡べいふあーむ』は、もともと暑い笠岡市の海面下にあるため、夏は非常に高温になります。こればかりは仕方がないと苦笑されておりました。

組合や組織に望むこと

酪農業界が存続していくにあたり、大規模経営も必要であるし、家族経営も必要であると考えています。現状、家族経営や小規模法人経営が存続していくためには、酪農ヘルパー制度の充実が欠かせないと思っています。しかし、全国的には酪農ヘルパーの身分保障や安定した仕事の確保が充分ではない上に、廃業が進むにつれ地域での制度事業が維持困難になっている場合があると聞きます。最近では、車両や機械の操作に対し免許制度が支障となり、若いヘルパーさんが操作できない場合が増えてきています。利用者側も努力していきますので、実力や向上心のある人が酪農に関わる1つの方法として選択していただき、将来に不安を覚える事の無いような広域的な団体制度があれば良いと思っています。

後継者として、お2人で取材を受けていただきました。友博さん・政子さん。今後の活躍を期待しております。

し会話ができたと思います。ワイズの参加者には、牛柄の保冷バッグをプレゼントしました。1ℓ牛乳が2本ピツタリ入るサイズです。毎日使っていたけると嬉しいです。

(一社)Jミルクのブースは、子どもたちのカルシウム不足の解決を目的に、給食のない休日はおうちで牛乳を飲むという「土日ミルク」のコンセプトで彩られました。牛乳の機能性に着目すればこそ、まずは1杯の牛乳から。おうちでも牛乳を飲む習慣が広まるのが大事だと実感します。また大阪でも展示した全国の給食牛乳パックの分布を地図化(ZEN R-N)した。パネルも設置いただきました。東京でも常にたくさんの方が足をとめて見入っていました。

まずは1杯。国民の皆様にとくさん牛乳を飲んで貰えるよう、今後も消費者の方々の興味を惹きながら、酪農・牛乳に対する理解を深めて頂ける活動を継続していきたいと思えます。

理解醸成活動は、今年も北海道から沖縄まで全国70を超える場所で開催が予定されています。お近くの酪青女活動に参加して、消費者への理解を求めていきましょう。

活動の様子



牛飼いのバター 200g

岩手県二戸市で生まれる酪農家バターを、もっと地元東北地区の皆様
に知ってもらいたいという思いで、二戸市の豊かな自然風景と北福岡工
場やそこで営まれる牛飼いと牛たちの様子を6種類のパッケージデザイ
ンに表現し“ご当地バター”として、2023年7月に販売開始してから、
岩手県の量販店や二戸市のふるさと納税返礼品としてご好評頂いており
ます。岩手県二戸市から、「美味しい」をお届けします。

製造者：全酪連北福岡工場 ケース：200g×30入



酪農家ぬるチーズ 80g

原料となるチーズとバターは国産のものだけを使用して作られる、濃厚
かつなめらかでクリーミーな食感が特長の“ぬる”チーズです。食パン、
野菜のディップやカナッペをはじめ、蓋を外してレンジアップすればフォン
デュ風にも楽しめる、簡単に幅広い用途でお使い頂けるロングセラーです。

製造者：㈱エフ・エフ・シー ケース：80g×36入



Zenraku Original 各種 (6P、スモーク、スライス、とろけるスライス)

“全酪ゴータ”をはじめ、厳選した原料チーズをブレンドしてマ
イルドな風味に仕上げました。なかでもスモークタイプは国産山桜
チップでじっくりと燻煙した本格スモークチーズを手軽にお楽しみ
いただけます。

- スモーク 製造者：マリンフード(株) 埼玉工場 ケース：120g×30入
- スライス 製造者：デイリー・プロダクツ・ソリューション(株) 那須工場
ケース：126g×36入
- とろけるスライス 製造者：デイリー・プロダクツ・ソリューション(株) 那須工場
ケース：126g×36入
- 6P 製造者：デイリー・プロダクツ・ソリューション(株) 那須工場
ケース：108g×24入



スモークバーミー 250g

山桜チップでじっくり本格燻煙するからこそできるサイズ不揃いや色ム
ラのあるスモークチーズを真空パックに詰め合わせました。チーズの形や
大きさは様々ですが、独特な食感と、見た目通りの食べ応えで通好みの逸
品として知られる商品です。原材料の配合に応じて数種類の商品がありま
すが、製造時に発生した量に応じて販売される限定商品となっております。

製造者：マリンフード(株)埼玉工場 ケース：250g×30入



買い求めにつきましては、お近くの全酪連支所にお問い合わせください

- 本所 酪農部 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館
- 札幌支所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西 7-1 酪農センター
- 仙台支所 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ 8F
- 名古屋支所 〒460-0008 名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 3F
- 大阪支所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F
- 福岡支所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-2-15 事務機ビル 7F

- TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
- TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
- TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
- TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
- TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
- TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

全酪連おすすめ乳製品のご紹介

日頃よりバター・チーズ等の全酪乳製品をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

今回は、弊社シーズンギフトや公式オンラインショップ等でも人気のオススメ商品をご紹介します。

全酪連
公式オンライン
ショップ



全酪ゴーダ 125g

1971年の生産開始から、酪農生産者団体が生産する初の国産ナチュラルチーズとして変わらない伝統製法で作られ続けた全酪乳製品を代表する商品です。2021年3月には新生酪農(株)栃木工場に生産拠点を移しましたが、これまでと変わらず口当たりよく、フレッシュな生乳の風味を感じられるゴーダチーズとして多くの皆様にご好評頂いております。

製造所：新生酪農(株) 栃木工場 ケース：125g×30入



そのままでも美味しい国産シュレッドチーズ

“全酪ゴーダ”をはじめとした国産ナチュラルチーズを100%配合したシュレッドチーズです。加熱調理はもちろん、そのままでもお召し上がり頂けるため幅広い用途で利用が可能です。また、セルロース（結着防止剤）を使用しておりませんので熟成されたゴーダチーズのコクとチェダーチーズの爽やかなうまみをそのままご賞味頂けます。

製造者：デイリー・プロダクツ・ソリューション(株) 横浜工場
ケース：200g×15入



酪農家バター 200g

東日本地区の重要な生乳需給調整工場である全酪連北福岡工場（所在地：岩手県二戸市）で製造される国産の生乳を使用した加塩タイプの“白い”バターです。なめらかな口当たりとさっぱりとした後味で毎日食べても飽きが来ないのが特徴で、料理や素材のおいしさをひきたてます。

製造者：全酪連 北福岡工場 ケース：200g×30入



須藤牧場

千葉県館山市

―T企業社員から 農場部長へ転身！

千葉県館山市に位置する須藤牧場は、房総の恵まれた気候を活かし、酪農業を展開しています。夏は涼しく、冬は温暖なこの地域は、牛にとって理想的な環境です。同牧場は大正時代に設立され、現在は3代目の須藤裕紀氏と4代目の須藤健太氏が経営を行っています。

地域の紹介

酪農発祥の地とされる千葉県の南端に位置する館山は、豊かな自然と穏やかな気候が魅力の観光地です。周囲を海に囲まれたこの地域は、美しいビーチや壮大な海岸線が広がり、年間を通じて多くの観光客が訪れます。

館山の気候は、海流の影響を受けて「夏は涼しく、冬は温暖」という特徴があります。これにより、暑さに弱い牛たちにとって最適な環境が整っています。真冬でも気温が

0度を下回ることは稀で、安定した気候が牛の健康と成長を支えています。また、館山を流れる豊かな地下水は、牛乳の美味しさにも大きく寄与しています。牧場のある館山市は歴史的にも重要な地域で、江戸時代から続く漁業や農業が根付いている地域でもあります。地元の人々は、自然と共生しながら生活してきたため、地域独自の文化や風習が色濃く残っており、現在も伝統的な祭りやイベントが多く開催され、地域の人々と観光客が交流する場となっています。

館山の経済は、農業や漁業を中心に発展しています。特に、温暖な気候を活かした果樹栽培や酪農が盛んで、今回ご紹介する原さんが勤務されている須藤牧場のよう



▲ 原正則さん



ができる飲食店も充実しており、観光と地域経済の活性化に寄与しています。



▲ 須藤牧場の入り口オブジェ

須藤牧場の紹介

須藤牧場では、フリーストール方式でホルスタイン牛やジャージー牛などを飼育しており、1990年からは酪農体験を受け入れ、地域との交流を深める活動も積極的にを行っています。さらに、2001年には酪農教育ファーム認証を取得し、教育的な側面にも力を入れています。多くの訪問者を迎え入れ、地域の子どもたちに酪農の魅力を伝える重要な役割を果たしながら地



▲ 放牧

域貢献を通じて、須藤牧場は地元の酪農業の振興にも寄与しています。また、環境改善や飼料の研究が実を結び、関東生乳品質改善共励会では乳質最優秀賞を受賞。これにより、須藤牧場は地元内外でも優良牧場として広く知られています。

IT業界から酪農業界へ

この須藤牧場で農場部長を務めるのが原正則さんです。手慣れた様子で牛の世話をされていますが、もともとはIT企業の会社員でした。教育関連の現場に向き、パソコンの修

理や先生へのサポート、研修を行う情報技術支援員の育成や派遣で全国を回っていたと言います。

運命の出会い

原さんの奥様が動物好きで、かつて北海道の牧場にアルバイトに行っ

たことから運命の歯車が回り始めます。新婚旅行でその牧場を訪れたとき、青々と広がる牧草地の風景やのんびり牧草をはむ牛たちの姿に心が癒されるのを実感し、それから夫婦でゴールデンウィーク、夏休み、年末年始と北海道に通っては牛舎で作業を手伝い、牛と過ごすという体験を繰り返しました。牛とふれあい非日常に触れることで、どんどん頭や体がリフレッシュされていくことを感じたそうです。

この時の体験をきっかけに、安定したキャリアを捨て、北海道で1年間研修をした後に声をかけられ千葉県館山市の須藤牧場で酪農家としての新たな人生をスタートさせたのです。

牛への愛と酪農教育活動

須藤牧場での原さんの仕事は牛の飼育だけにとどまりません。彼は日本の酪農活性化を目指し、酪農教育活動にも積極的に参加しています。かつて学校の情報教育に携わった経験を活かし、オンライン牧場体験を開催するなど、多くの人々に酪農の魅力伝える活動にも力を注いでいます。「まずは大人に理解してもらえば、そこから子どもにつながって

いきます」と語る原さんの言葉には、酪農の未来を担う子どもたちへの熱い思いが込められています。牛と触れ合うことでやりたいをやるような基盤作り、働きたいという思いをもった人が働けるような環境を整え、感動や学びを、次世代にしっかりと伝えていきたいと考えています。

交流と普及活動

休日には、酪農乳業の普及活動にも積極的に取り組んでいます。地域交流牧場全国連絡

会では関東ブロックの交流部長として、酪農家同士や畜産系の大学生との交流の場を作り、業界団体の企画にも参加しています。原さんの活動は、牛に対する理解を深めるだけでなく、地域コミュニティの絆を強める役割も果たしています。また、10年前から「うし活」を実施し、情報発信や牛グッズ制作を行って

います。2022年には、酪農乳業の未来を担う会「USHINOBA」を発足し、地域における理解醸成活動を共有しています。

希望を抱く挑戦

原さんは、牛と出会い普及活動を始めてから10周年を迎え、音声配信「うしミルク高原」など新たな活動を展開しています。「酪農業界の未来のために、様々なアイデアを集結し、新たな一歩を踏み出していきたい



▲ 原さん

い」との言葉には希望が満ちています。また、日本の食料自給率の低さに危機感を抱き、「国産の食、農業にもっと関心を持ち、農業で働きたい人を増やしていかなければ、子ども達の未来を守れない」と警鐘を鳴らします。原さんは、酪農の重要性を広めるため、地域の人々とのつながりを大切にしながら活動を続けています。

結び

原さんの取り組みは、酪農という仕事の魅力を再認識させるだけでなく、大きな決断とその情熱の大切さを教えてくれます。彼の物語は多くの人々に勇気と希望を与え、酪農業界の未来を明るく照らしていくことでしょう。原さんの今後の活躍、そして「うし活」のさらなる広がりに注目していきたいと思えます。彼の情熱が、多くの人々に影響を与え、酪農業界の新たな可能性を切り開くことを期待しています。

最後に、お忙しい中取材にご協力いただいた原正則さんならびに須藤牧場の皆様にご利用の発展とご活躍を祈念いたします。

酪農部
発

全国農協乳業協会 「女性職員向けキャリア研修」を開催しました

酪農部が事務受託する全国農協乳業協会（会長：大久保克美 東毛酪農業協同組合 代表理事組合長）において、製造職員限定の「製造女性職員向け研修」（令和6年7月17日／8会員12名）を実開催で、また職種を問わない「女性職員向け研修」（令和6年8月21日／10会員17名）をWEB開催にて実施いたしました。

両研修は、「女性のためのキャリア研修」をテーマに、ANAビジネスソリューション(株)の講師を招聘し、女性ならではのライフステージ変化に伴う働き方や、気持ちの変化等について学び、過去・現在・未来

と参加者それぞれが自分自身の特徴を理解するためのエゴグラム検査等を実施いたしました。

参加した方々からは、「エゴグラム分析や自身の過去気持ちの浮き沈みを分析する中で、客観的に自分を見つめなおすことができた」や、「他社の製造に従事する方と初めて交流し刺激になった」等の声が聞かれました。

研修内容だけでなく、職場の環境や自身の業務、様々なことが闊達に情報交換されており、参加者それぞれが新しい気づきを得る機会になりました。

(Y.A)

本研修会は、(一社) Jミルク「国産牛乳乳製品高付加価値化事業」の助成を受けて開催いたしました。



▲ 受講風景



酪農部
発

全国農協乳業協会 「ヒューマンエラー研修」を開催いたしました

令和6年8月7日に13会員23名の参加を得て、「令和6年度ヒューマンエラー研修」を開催いたしました。令和4年度より毎年開催をしている本研修会は、ANAビジネスソリューション(株)講師を招聘し、「ヒューマンエラー防止基礎コース」をテーマに、製造現場管理職・班長クラスの方々を対象に実施いたしました。

研修は、「ヒューマンエラーが発生するメカニズム」「発生したエラーを繰り返さないために、いかに分析をするか」「どのようにヒューマンエラーを防ぐのか」について学んでいきました。最後には、「営業による見積書の発送ミス」を題材に、エラー分析の方法をグループワークで学んでいきました。

参加者からは、「ヒューマンエラーはゼロにすることは出来なくても、コントロールすることが大切であることが印象に残った」や、「弊社もSHELモデル（事故発生原因分析する方法）を採用し、エラーチェーンを切る事でヒューマンエラー事故の削減につなげたい」と声が聞かれ、自身の現場環境を変えよう

とする意識が強く感じられました。

また、「権威勾配」という立場が上の人が、下の人に対し「間違っている」と言いにくい環境をつくることで、事故が見過ごされてしまう事象の説明を受けて、参加された人の多くが、通常業務における部下・後輩とのコミュニケーションの在り方を考えさせられるきっかけとなり、有意義な研修会となりました。（Y.A）



本研修会は、（一社）Jミルク「国産牛乳乳製品高付加価値化事業」の助成を受けて開催しました。

酪農部
発

全国農協乳業協会 「営業中堅職員向け研修」を開催いたしました

令和6年9月10日に14会員34名の参加を得て、「令和6年度営業中堅職員向け研修」を開催いたしました。（公財）日本生産性本部の講師を招聘し、「理想の職場づくりと部下の育成」をテーマに、営業職の主任・係長クラスの方々を対象に実施いたしました。

研修は、動画や実際のリーダーシップに係る経営者の話等を中心に、結果を出せる理想の職場や、人がついていきたくなる上司はどのような人物なのか等について、資料映像等を用いて学んでいきました。最後に人をやる気にさせる「PEP^{ベップ}トーク」について学び、参加者からは職場の後輩・部下とのコミュニケーションに活かしたいとの声が多く聞かれました。

来年度以降も、各会員の中核を担う中堅職員の方々への研修を実施していきたいと考えております。（Y.A）



本研修会は、（一社）Jミルク「国産牛乳乳製品高付加価値化事業」の助成を受けて開催しました。

名古屋
支所発

笠松競馬場で「畜産フェア」が開催！

9月23日（祝・月）に笠松競馬場において、畜産フェアが開催されました。このイベントは岐阜県馬事振興協議会（事務局：一般社団法人 岐阜県畜産協会）と岐阜県地方競馬組合が共催で、畜産物のPRをすることを目的に毎年開催されており、岐阜県酪農農業協同組合連合会は牛乳の消費拡大を願って毎年参加され

ています。

笠松競馬場には2,000人ほどの来場者が詰めかけ、開場から行列が出来るほどの盛況であり、用意した飛騨高原牛乳500人分は1本も残らず配布されました。

当日は家族連れの来場者が多く、牛乳の良いアピールが出来たイベントとなりました。（S.M）



▲ 牛乳配布風景



▲ 配布用の牛乳

原稿募集

「酪農トピックス」では皆様からの記事を募集しております

共進会、B & W、酪農祭り、親睦スポーツ大会といった催事情報から組合住所の変更や移転等案内情報、そして直営店情報や組合の自慢情報まで、酪農トピックスでは会員の皆様からの原稿を募集しております。本コーナーは会員の皆様の情報交換の場です。ぜひご活用ください。

送付先

皆様のお近くにありますが本会支所までご送付・ご連絡ください。

■札幌支所

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1 酪農センター5階
tel. 011-241-0765

■仙台支所

〒980-0014

仙台市青葉区本町2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ8階
tel. 022-221-5381

■東京支所

〒151-0053

東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館4階
tel. 03-5931-8011

■名古屋支所

〒460-0008

名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3階
tel. 052-209-5611

■大阪支所

〒532-0011

大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル6階
tel. 06-6305-4196

■福岡支所

〒812-0016

福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7階
tel. 092-431-8111



日本酪農
政治連盟

酪政連活動報告

令和6年8月～9月

8/6	北海道酪農協会 要請活動に同行（於：衆議員議員会館）
8/26	正副委員長会議（於：全酪連役員会議室） *今後の活動スケジュール・要請内容について協議。会議終了後、衆・参議員会館において要請活動を実施。
8/27	自由民主党総合農林政策調査会・農林部会 合同会議（於：自由民主党本部） 柴田委員長は、未だ厳しい各地の酪農情勢を伝えるとともに、令和7年度酪農関連対策・予算確保にかかる要請を行った。  ▲ 柴田委員長要請
9/3	日本酪農政治連盟・日本酪農政治連盟東北ブロック協議会意見交換会（於：岩手県花巻市） 日本酪農政治連盟より柴田委員長・坂本幹事長出席。東北各県の代表者と意見交換を行う。

／（一社）全酪アカデミーも参加しています／



新・農業人フェア

主催：株式会社農協観光 運営：株式会社マイナビ 協賛：全国酪農業協同組合連合会 他

例年農林水産省補助事業として開催されている「新・農業人フェア」は、就農希望者と就農希望者を募集する自治体や農業法人等が一堂に会し、就農相談やセミナー、説明会を行う就農相談会です。

「農業を知りたい」「働きたい」「かかわってみたい」という気持ちをもつ全ての方を対象とした、入場無料、入退場も自由な、国内最大級の就農イベントです。

イベントの詳細はこちら



開催日	種別	会場
7月20日(土) (終了しました)	農業就職・転職 LIVE	東銀座歌舞伎座タワー マイナビ PLACE (東京都中央区銀座)
8月31日(土) (終了しました)	農業 EXPO	東京国際フォーラム (東京都千代田区丸の内)
10月27日(日)	農業 EXPO・LIVE	グランキューブ大阪 (大阪府大阪市北区中之島)
12月8日(日)	農業 EXPO	東京ビッグサイト (東京都江東区有明)
2月1日(土)	農業就農・転職 LIVE	東京交通会館 (東京都千代田区有楽町)

ひろらく(広島県酪農業協同組合)の

イメージキャラクター名前募集

名前をつけてほしいわぁ。。。



広島うし
特設ページはこちら

ひろしまの牛乳

広島うしの名前募集

ひろらくイメージキャラクターの名前を募集をしています。
採用された方には広島県産牛乳を使用したバター&アイスをプレゼント!!
たくさんのご応募、お待ちしております。

広島うしは、広島県の大地で
大切に育てられた牛さんをイメージしました。
酪農家さんが毎日搾って
牛乳をお届けしています。
広島県の牛を身近に感じていただき
広島県産牛乳をお手に取っていただけたらと
思いが込められています。



【広島うしの詳細】

- 出身地 : 広島県
- 所在地 : 広島県
- 性別 : 女の子
- 年齢 : 未達の3歳と69日
- 誕生日 : 3月6日9時
- 身長 : 非公開
- 体重 : 36.9kg (ちいーとこまい)
- 好きな食べ物 : 牧草・とうもろこし
- 生体特徴 : ●おだやかで人懐っこい
●興味津々でチャレンジ精神旺盛
●匂いをすぐ嗅いじゃう
●ご飯じゃなくても口もぐもぐ、
だって胃が4つあるからね!

応募締切：令和6年11月30日

応募方法：郵便、FAXまたはインターネットよりご応募ください。

記載内容：①広島うしの名前②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦職業⑧名前への思い

郵便



ハガキに①～⑧までを記入の上、下記の宛先までお送りください。
応募締め切り日必着で郵送してください。

宛先：〒728-0023
広島県三次市東酒屋町306-65
広島県酪農業協同組合 生産振興課
「広島うし名前」係

FAX



①～⑧までを記入の上、
0824-64-2233
まで、FAXを送信してください。

インターネット



メールまたは、
Instagramのダイレクト
メッセージに①～⑧までを
記入の上応募締め切り日までに、
お送りください。
mail: hirosshima369ush1@gmail.com
Instagram: hiorakumomow



メール Instagram

※本①④に応募の場合は知照となりますのでご了承ください。
※本②⑤⑥⑦⑧個人情報はこの応募選考のみに使用し、採用者が決定次第削除いたします。



広島県酪農業協同組合
〒728-0023 広島県三次市東酒屋町306-65
☎0824-64-2072 ☎0824-64-2233

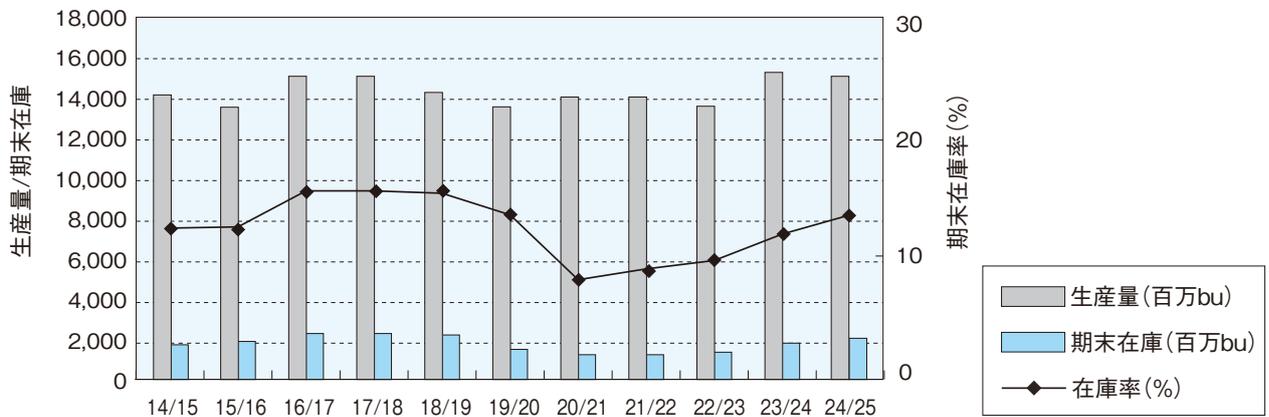


ミルクファーム HARU
〒727-0004 広島県庄原市新庄町291-1 食彩館しょうばらゆめさくら内
☎0824-75-4514 ☎0824-75-4801

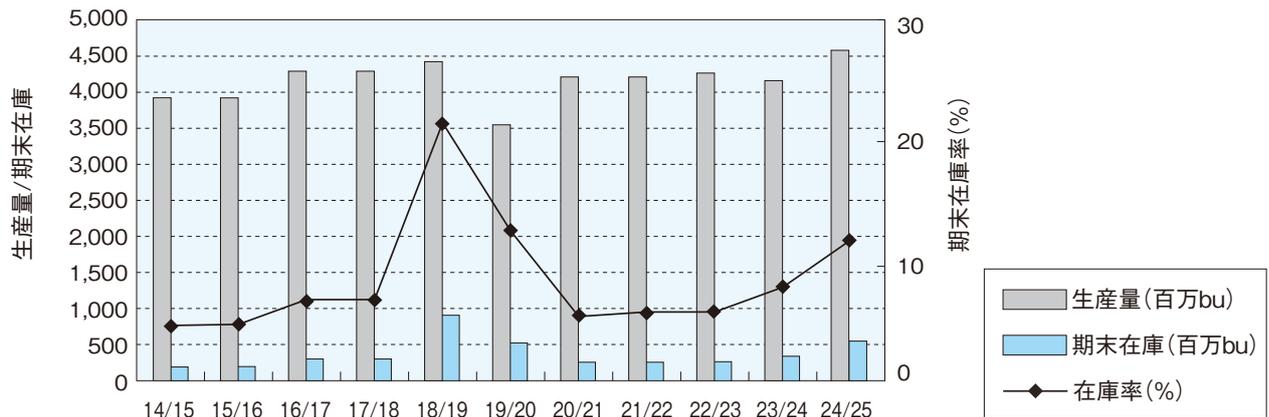


		23/24年産	24/25年産
9月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積(百万エーカー)	94.6	90.7
	単 収(ブッシェル/エーカー)	177.3	183.6
	生 産 量(ブッシェル)	153億4,200万	151億8,600万
	需 要 量(ブッシェル)	149億2,000万	149億6,500万
	期末在庫(ブッシェル)	18億1,200万	20億5,700万
	在 庫 率	12.14%	13.75%
	トウモロコシ 相場動向	今回のUSDAの発表では期末在庫率が低下したため相場は値を上げているが、米国では適度な降雨や生育に適した気温の影響から作柄は良い状態を維持しており、高単収が期待されている。このため、シカゴ定期は直近では値を上げているが、米国の豊作見通しもあり上値は重い状況となっている。	
大豆粕相場動向	米国・ブラジル産の豊作見込みからシカゴ相場は弱含みに推移している。菜種粕の方が採算が良いため、国産大豆粕は前年対比搾油量が減少しているものの、輸入が潤沢にあるため、需給は適正に推移している。		
糟糖類	【一般フスマ】 発生量と需要量が均衡していることから、相場は横ばいで推移している。		
	【グルテンフィード】 国産スターチメーカーの稼働は落ち着き、これから冬に向かって閑散期に突入する。一方で飼料需要は堅調に推移しているため、今後は年末に向けてタイトな需給になると予想される。		
海上運賃	海上運賃は、穀物輸出に向けたオーダーが増加しており堅調に推移している。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

令和6年9月

北米コンテナ船情勢	北米西海岸航路は乗継航路を含めて主要な本船スケジュールの乱れが続いており、遅延が発生しています。世界的な物流状況の悪化に加え、中南米から日本向けの航路では遅れを取り戻すために、プランクセーリング（抜港）が増加しており、日本で降ろされる予定の貨物が、アジア地域の中継地である釜山港に多く運ばれています。この影響で釜山港の貨物量は増加しています。日本の一部の港は釜山港を経由し寄港する機会が多いため、更なる遅延が懸念されています。カナダでは8月22日に鉄道労働組合（TCRC：Teamsters Canada Rail Conference）とカナディアン・ナショナル鉄道（CN）および、カナダ太平洋カンガスシティ・サザン鉄道（CPKC）の間で労使交渉が決裂したことからロックアウト（施設や敷地から労働者を退出させる交渉手段）が発表され、貨物の輸送が停止されました。これを受け政府機関は労働基準監督機関に対して仲裁裁定の実施を行い、ロックアウトは解除となり、カナディアン・ナショナル鉄道（CN）は8月23日より、カナダ太平洋カンガスシティ・サザン鉄道（CPKC）は8月26日より運行再開となりました。短期間のロックアウトとなりましたが、労使交渉の行方は不透明のままとなっているため、今後の状況には注視が必要です。
ビートパルプ	【米国产】 米国内の各産地では24年産の製造が開始されています。主産地のミシガン州では、生育期には理想的な天候に恵まれたため、例年以上の収量が見込まれていますが、ミネソタ州やアイオワ州の一部の地域では例年並み～例年以下と予想されています。米国内では飼料価格の軟化や搾乳頭数の減少もあり、乳製品価格が上昇傾向となっているため輸出向けに比べ相場は堅調に推移しています。
アルファルファ	<p>【ワシントン州】 主産地であるワシントン州コロンビアベースンでは、3番刈の収穫作業が終盤を迎えており、早い圃場では4番刈の収穫作業が開始されています。収穫された3番刈は夏場の気温上昇や、コロンビアベースン北西部近辺で山火が発生し煙が流入した影響で乾燥に時間が掛かったため、一部では色褪せた過乾燥気味の品質が発生しています。依然として、日本や中国の需要減退や産地相場の低迷により輸出業者は積極的な買付を行っておらず停滞しており、1～3番刈の現地在庫も積みあがっています。</p> <p>【オレゴン州】 主産地であるオレゴン州クラマスフォールズでは、2番刈の収穫作業が終了しており、3番刈の収穫作業が中盤を迎えています。例年より収穫の進捗が早いことから多くの生産農家では4番刈まで収穫できる見込みです。7月中下旬に気温が上昇したため、1番刈と比較すると成分は低下したものの、収穫時期を通して天候に恵まれたこともあり2番刈の品質は上級品が中心となっています。米国内酪農家は近隣州も含めて引き続き成分値が高い品質を買付していますが、成分値の低下を受け産地相場はやや軟調に推移しています。</p> <div data-bbox="1034 698 1449 817" data-label="Image"></div> <p>▲24年産2番刈オレゴン産アルファルファ 8月中旬撮影</p> <p>【カリフォルニア州】 カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは現在6番刈の収穫中で、圃場によっては7番刈の収穫が開始されています。産地では高温多湿な気候となっており、成分値は低く、茎細で色褪せたサマーハイ中心の発生となっています。インペリアルバレー灌漑局の発表によると、8月15日時点でのアルファルファの作付面積は135,219エーカー（前年同期は136,028エーカー）と前年同期比99%と減少しています。</p> <p>【ネバダ州】 ネバダ州北部では3番刈の収穫作業が終盤を迎えており、9月上旬から4番刈の収穫作業が開始されています。生産農家は少しでも多くの利益を確保するために早刈りを行い、良品の生産に努めたことに加え、好天が味方したこともあり収穫された多くは上級品となっています。中国向けの出荷は需要が鈍化したことにより、輸出業者も積極的な買付を行っておらず産地相場は軟化しています。</p>
チモシー	<p>【米国产】 主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは2番刈の収穫作業が開始されています。エレンズバーグ山間部の貯水池の水不足により農業用水への取水制限が予定されていましたが、開始が8月下旬に延期になったことから2番刈生産への影響は少なく当初の予測よりも生産量は増加する見込みです。1番刈では上級品の発生が中心となったことで米国内の馬向け需要が旺盛となり、産地相場は堅調に推移しています。輸出業者は2番刈からの中～低級品の発生に期待していることから、現在は必要な分のみ買付を進めている状況です。</p> <p>【カナダ産】 主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区では、1番刈の収穫が終了し、2番刈の収穫が開始されています。収量は昨年並みで、収穫期の天候に恵まれたことから上～中級品が中心で、低級品の発生は限定的となりましたが、カナダ国内に出荷される見込みです。同州中部のクレモナ地区では、例年と比較して1週間程度生育が遅れていましたが、8月上旬に1番刈の収穫作業は終了しました。乾燥した日が多かったものの生育期間中の降雨や高湿度な気候もあったことから、収穫された品質は中級品が中心となっています。</p>
スーダングラス	<p>主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、2番刈の収穫が最終盤を迎えています。産地相場低迷により大半の生産農家は1番刈で生産を終了しています。24年産の作付面積減少に加え、2番刈に進んだ生産者が少ない影響で、夏場に多く発生する茎が太い低級品は限定的となる見通しです。23年産の在庫に加え、未だに22年産の旧穀在庫を抱えている輸出業者もいるため作付面積の減少による供給力に懸念はありませんが、今後の相場次第では今期の生産量と繰り越し在庫より需要が上回ることも考えられるため注視が必要です。灌漑局の発表によると、8月15日時点の作付面積は10,814エーカー（前年同期は16,022エーカー）となっており、前年同期比67%と、低水準での推移が続いています。</p> <div data-bbox="1034 1344 1449 1534" data-label="Figure"> <p>インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移(単位:エーカー)</p> </div>
DIP (Deficit Irrigation Program) について (休耕地政策)	8月12日にインペリアルバレー灌漑局の理事会にてDIP実施の承認がおりました。翌日13日より開始となり多くの生産者がプログラムに参加しています。DIPは2026年度までの3年間実施されるため、生産者はDIP開始直前（夏前までの収穫）まで採算が取れる範囲で牧草の生産を行い、夏場はDIPに参加するという循環が出来ることで、来以降アルファルファ/クレイン/バミュダの生産量は減少すると予想されています。
クレイングラス	<p>クレインは全酪連の登録商標です。</p> <p>主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、23年産の相場低迷により生産の判断を待った上で作付を開始した圃場では2～3週間収穫作業が遅れて開始しました。そのため、作付が遅れた圃場では現在3番～4番刈、早い圃場では5番刈の収穫が開始されています。一方でDIPに参加した生産者が多いため24年産での総生産量は昨年と比較して減少する見通しです。産地では湿度や気温が高い日が続いているため、茎が固めで色褪せた品質も発生しています。韓国では日本向けに適さない中低級品の引き合いが続いており、今後も堅調に需要が推移すると作付面積減少もあり価格高騰に繋がる恐れもあるため注視が必要です。灌漑局の発表によると、8月15日時点の作付面積は21,067エーカー（前年同期21,996エーカー）となっており、前年同期比96%とやや減少しています。</p>
バミュダ	主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは現在バミュダハイの3番刈の収穫が最終盤を迎えています。米国内の馬向け需要や種子の相場も堅調なため、生産は続いています。多くの生産農家は休耕地政策に参加することで得られる補助金の方が牧草や種子生産より収益性が高いため、DIPに参加しています。灌漑局の発表によると、8月15日時点の作付面積は71,426エーカー（前年同期:66,693エーカー）、前年比107%となっています。
オーツハイ・ウィートストロー	【蒙州産】 西蒙州では7～8月を通して降雨に恵まれましたが、東蒙州、南蒙州の一部の地域では降水量が昨年より少なく、収量の減少が懸念されています。蒙州では季節が春に向かっていくことから気温も上昇しており、牧草の生育が進むことが見込まれています。降雨が少なく、乾燥も続いているため、蒙州内の放牧用の牧草も限定的になるため、国内酪農家からの引き合いは堅調に推移しています。生産農家も輸出向けより蒙州国内に販売する方が収益を得ることが出来ることから23年産の繰り越し在庫は秋頃には無くなると予想されています。蒙州海運情勢については紅海問題やアジア地域の積荷港に残留している大量のコンテナの影響により、引き続きスケジュールの乱れが続いています。西蒙州のフリーマントル港では蒙州船員労組（AMOU）に所属するパイロットボート（水先船）とVTS（船舶通航支援業務）職員で数ヶ月におよぶ賃金交渉が決裂したことで8月18日に時限ストライキが行われましたが、港務局が関係者と協力し対策を実施したため荷役作業への影響は僅かなもので済んだ模様です。25日には、2回目の時限ストライキを実施予定でしたが、労使交渉により撤回となりました。このような港務労使の動きと悪天候も重なって貨物の滞留や混雑が続くことが予想されています。

初乳粉末製品

GOODSTART

PREMIUM

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有

初乳が足りない時、イザという時の備えに

○作業性は「3楽」～溶かすも楽、給与も楽、片付け作業も楽々～

何かと余裕がなく、慌ただしい子牛の分娩。溶解性に優れているグッドスタートプレミアムを使えばスムーズです。

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な
初乳粉末

中鎖脂肪酸

ビタミン
ミネラル

乳酸菌
ビフィズス菌

全卵粉末



全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら

代用乳・配合飼料・添加物・酪農・畜産機材類 掲載

地域によって、取扱がない製品もございます。
詳しくは各支所へお問い合わせください。

代用乳製品

生まれた子牛は強化哺育®にお任せください!!

ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用



全酪連は2005年1月に搾乳後継雌牛のための「強化哺育®・育成体系」を発表、強化哺育®用代用乳「カーフトップEX」を供給してまいりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳量増加などの好結果に絶大なご支持を賜ってまいりました。全酪連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い(「標準体系」vs「強化哺育®」)を比較するための飼養試験を1998年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産分娩月齢は22.3ヶ月ではほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区が596.2kg+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kgで標準より+822kgという結果でした。

和牛・F1子牛 強化哺育®代用乳



強化哺育®の効果を和牛子牛やF1子牛に応用するために「カーフトップEXブラック」を開発、2007年夏より供給開始し、全国の肉用素牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用素牛においても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。『カーフトップEXブラック』は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。

お問い合わせ先



全国酪農業協同組合連合会

札幌支所 011(241)0765 仙台支所 022(221)5381 名古屋支所 052(209)5611 福岡支所 092(431)8111
 釧路事務所 0154(52)1232 北東北事務所 019(688)7143 大阪支所 06(6305)4196 南九州事務所 0986(62)0006
 帯広事務所 0155(37)6051 東京支所 03(5931)8011 中四国事務所 0868(54)7469
 道北事務所 01654(2)2368 北関東事務所 027(226)6851 近畿事務所 0794(62)5441
 桜丘駐在員事務所 01537(6)1877 栃木事務所 028(689)2871 三次事務所 0824(68)2133

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇄……やや弱含み ↓……弱含み

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	20~30	→	札幌管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で102.2%、累計で97.9%、苫小牧管内月計で101.1%、累計で97.2%の実績となっております。10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬の分娩になりますが、資源は豊富にあるため、相場については前月並みで横這いに推移するものと見込まれます。選別精液腹・F1腹問わず資源の出回りはあります。高能力牛の選択が可能な地域でありますので、導入のご予定がございましたらお問い合わせ下さい。
	初妊牛	40~50	→	
	経産牛	30~40	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	20~30	→	根釧管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.4%、累計で100.2%、中標津管内月計で103.4%、累計で101.0%の実績となっております。10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬の分娩が中心となります。猛暑が続いた府県での更新需要が考えられますが、管内の乳牛市場への出品頭数は多く、庭先購買価格は横這いで推移するものと思われま。資源状況はF1腹、雌雄選別腹ともに十分に確保され、また和牛受精卵移植腹の出回りもあります。腹別では雌雄選別腹、和牛受精卵移植腹の引き合いが弱く、F1腹の引き合いが強い状況が続くと見込まれます。
	初妊牛	43~53	→	
	経産牛	33~43	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	20~30	→	帯広管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.0%、累計で100.3%の実績となっております。10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬の分娩が中心となります。資源については十分に確保できる状況であることから、相場についても横這いで推移するものと見込まれます。腹別の資源状況ですが、前月同様にF1腹の引き合いが強くなり、雌雄選別腹の需要が軟調傾向になると見込まれます。和牛受精卵移植腹につきましては、導入しやすい価格帯となっています。即戦力とできるような分娩時期の牛や若い経産牛においては、初妊牛と同様の価格帯で取引されています。育成牛に関しては、夏分娩になる月齢の育成牛の出回りになり前月並みで推移されると予想されます。
	初妊牛	43~53	→	
	経産牛	33~43	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	30~40	→	道北管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で99.0%、累計で98.2%、北見管内月計で103.1%、累計で101.6%の実績となっております。10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬の分娩が中心となります。冬に向けた分娩中心となります。例年、都府県は夏暑さによる影響が牛群に始り、導入需要が高まってくると考えられますが、資源が豊富にあることから、生体取引の値動きは、横這いに推移すると予想されます。出回りの腹別の資源状況については、雌雄選別腹、F1腹ともに潤沢な状況です。経産牛については、道内からは即戦力を求める動きで需要が高まっています。秋・冬分娩の経産牛も動きは横這いに推移すると見込まれ、価格は横這いで推移すると予想されます。
	初妊牛	43~53	→	
	経産牛	33~43	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	20~30	→	道内の9月中旬までの生乳生産量前年比は102.3%、累計で100.1%の実績となっております。10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬の分娩が中心となります。冬に向けた分娩中心となります。資源については十分に確保できる状況となっており、庭先購買価格は横這いで推移する見通しとなっております。腹別の資源状況では、F1腹の引き合いが強くなり、雌雄選別精液の引き合いは弱く、和牛受精卵移植腹につきましても導入しやすい価格帯となっております。経産牛については、即戦力を求める需要が高まっております。弊会としても庭先購買中心にご要望に合った搾乳用素牛を供給して参りますのでご注文をよろしくお願いたします。
	初妊牛	43~53	→	
	経産牛	33~43	→	

お詫びと訂正

本紙7月号(No.706)7ページに掲載しました父の日に牛乳を贈ろう!前編の岐阜県酪農青年女性会議の文中のお名前に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

<誤> 【岐阜県知事への牛乳贈呈式】の開催(6行目) 古川知事 → <正> 【岐阜県知事への牛乳贈呈式】の開催(6行目) 古田知事

今月の表紙

今月の表紙は「第14回酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「ダメって言ったでしょ!」(福島県 佐藤恵美氏 撮影)です。



編集後記

- 全国酪農青年女性会議では紙面でもご紹介している通り9月29日に理解醸成活動を開催いたしました。間近で体験・体感できるイベント等を通じて、生産者と消費者が交流し、ひとりでも多くの方々の酪農理解に繋がるよう今年度も各地域、力を入れ活動を開催していきます。本誌でも、各地の様様をたくさんお伝えしていきたいと思ひます。
- 全国的にも秋の訪れには、まだ時間がかかりそうです。衣替えの時期ですが、洋服選びに注意が必要のようですね。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

令和6年10月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 10月号 No.709

● 編集・発行人 津田知亮
 ● 発行 全国酪農協同組合連合会
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
 TEL 03-5931-8003 <https://www.zenrakuren.or.jp/>

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



たべすぎなうし

田原市立泉保育園 6歳（中部） 伊藤聡一

今月の入賞作品は…

田原市立泉保育園 6歳（中部）の伊藤聡一さんの作品です。

ペンや鉛筆を駆使して、4頭の牛さんを個性豊かに描いています。スピード感のあるタッチが夢中で食事をしている4頭の様子を上手に表しています。まるで絵本の1ページを見ているかのような物語性を感じる躍動感ある作品に仕上がりました。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第50回らくのうこどもギャラリー」で全国255点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議